日刊 動労千葉

87. 1. 28

No. 2463

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二ー八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六・（公衆）〇四七二（22）七二〇七

国鉄「分割・民営化」阻止！三里塚二期着工粉砕！

組合員の先頭に立って 火の粉をかぶってこそ 雇用・権利は守れる

大量の労働者が失業し、人民の権利が奪われる時代ほど

国労の旧主流派の中央執行委員の八人が二四日、辞任し新会社ごとの「鉄道産業労働組合」なる御用組合をデッチ上げようとしている。この分裂・逃亡が社会党、総評の指導のもとに、しかも自民党政府、国鉄当局と接触をもちながら行われた事実も明らかにされており、もっともぶざまで恥知らずの裏切り者である。

中曽根の国労丸ごとの屈服のもくろみを粉砕

昨年十月、修善寺臨大は「労使共同宣言」を否決し、山崎執行部の打倒という偉大な勝利をかちとり、中曽根の国労の丸ごとの屈服ー国鉄労働運動解体に一気にケリをつけるもくろみは完全に粉砕された。中曽根・杉浦の手先となって「国労解体」を唯一の方針に掲げた御用組合の鉄労や動労のもくろみをも打ち砕いたのである。中曽根・杉浦らと夢想してきた一企業一組合のもくろみも破産的状況にある中で、いま、「改革協」内部において新会社の主導権、生きのこりをめぐり醜悪な対立と矛盾を深めている。一方では、国鉄当局が、どう差別・選別しても動労総連合や国労など闘う労組を排除できないこともはっきりした。

自己保身の「組合幹部」に雇用も権利も守れようか

この情勢の中で、いま、もっともぶざまで恥知らずの裏切り者として国労旧主流派が登場した。分割・民営化の旗をおろし、国労丸ごとの全面屈服を画策し、組合員の怒りのまえに十月臨大で打倒された彼らは、中曽根・杉浦に「本当に助かりたいのなら国労から脱退しろ」とおどされ、分裂・民営化後にそなえるとして「鉄道産業労組連合準備会」を発足させ国労分裂を策動してきたのである。

いま、炭鉱、鉄鋼、造船などで首切り、一時帰休などが吹き荒れている。鉄鋼労連などの「労使協調」でも雇用が守れないことがはっきりした。動労、鉄労の御用組合や、国労旧主流派は「労使協調」で雇用も権利も守れると大ペテンをろうしているが、資本に屈服し、奴隷となりはててきた「労使協調」労組で、いま首切りがやられている事実をみるならば、労働者が団結し闘ってはじめて生活や権利が守られる。「雇用か賃下げかだ」と組合員を恫かつ・服従をせまっている動労革マル松崎や、もっともぶざまな逃亡者となった国労旧主流派のように敵の攻撃が激化したとたんに、自己保身のために労働者を裏切る「組合幹部」にどうして労働者の雇用も権利も守れようか。

—地本査問委員会—

連報 国労千葉 No376より転載（1月19日付）

本吉・高野・東ら25人の除名を決める

組合員を"ふみ台"に保身に走る 組織破壊の首謀者たち

国鉄労働者全員の雇用を守り
などをめざす闘いを展開し、
みんなが力をあわせて闘って
ればならない本吉・高野・東ら
地方本部査問委員会は、昨年
ましたが、彼らはついに二回
十二月二十六日、査問委員会を開き
結果を審議した結論次の通り除名処分
した。

地本旧執行委員・会計監査
除名 本吉好夫（地本委員長）
高野文夫（副委員長）
東 昌良（書記長）
辻本常行（組織部長）
榎本 勇（業務部長）
織戸邦治（教育部長）
今井久夫（会計監査員）

支部・分会旧役員
除名 野老高央（江東支部委員長）
山本教人（副委員長）
嘉屋崎 忠（書記長）
高宮照美（執行委員）
伊藤博元（千葉支部副委員長）
高橋保夫（執行委員）
中島 豊（執行委員）
長谷川義郎（貨車区職協事務局）
高沢富美雄（新小岩貨車区分会）
富永 悟（両国保線区分会）
梅田保二（
川崎武男（
高橋春吉（津田沼電車区分会）
石井誠一（津田沼車掌区分会）
岡野 宏（千葉車掌区分会）
浅野貴久（
河野雄二（
小堀雅義（成田車掌区分会）
以上

分裂・逃亡の「東労幹部」さっそく"意識改革教育"

においても引き続いて賃金、労働条件の維持・改善
最大な局面を迎えています。
役員として、組合員の負託にこたえて献身しなけ
において糾弾されなければなりません。
十八回にわたり、本人からの事情聴取を求め
ました。

当局に忠誠をちかって特設職員科にすいせんされ、良い子になった織戸、榎本、野老、嘉屋崎ら。

利用された組合員はどうするの？

組合役員が当局（現場長）と結託して「雇用不安」をあおり「国労に所属していると新会社にいけない」と国鉄労働組合の組織破壊、分裂策動に身も心もささげることにより当局（現場長）から認められ特設職員科に推せんされ人所しました。

これからは組合員の要求や不満などを解決するのでなく、「当局の手先となり労働条件の低下や、労働者の権利無視に目をつぶる役割をになわされていく者です。」

「雇用を守るため」といい、利己的に組合員を利用して、自分だけ生きのびようとする行為は人間として許されません。

雇用を守り労働条件の向上をめざす国労に、勇気をもって復帰しよう。

特設職員科とは、国鉄の分割・民営化のために身も心も国鉄当局ー新会社のためにつくす教育をする目的で開校している。

その人達の名は次のとおりです。

・普通課程特設職員科
千葉電力区 中島 豊
千葉車掌区 浅野貴久、岡野 宏
習志野電車区 高橋春吉
津田沼運転区 織戸邦治
千葉運転区 田中洋三
両国保線区 榎本 勇、山本教人、川崎武男
津田沼車掌区 石井誠一
成田車掌区 小堀雅義
小名木川駅 野老高央

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！